

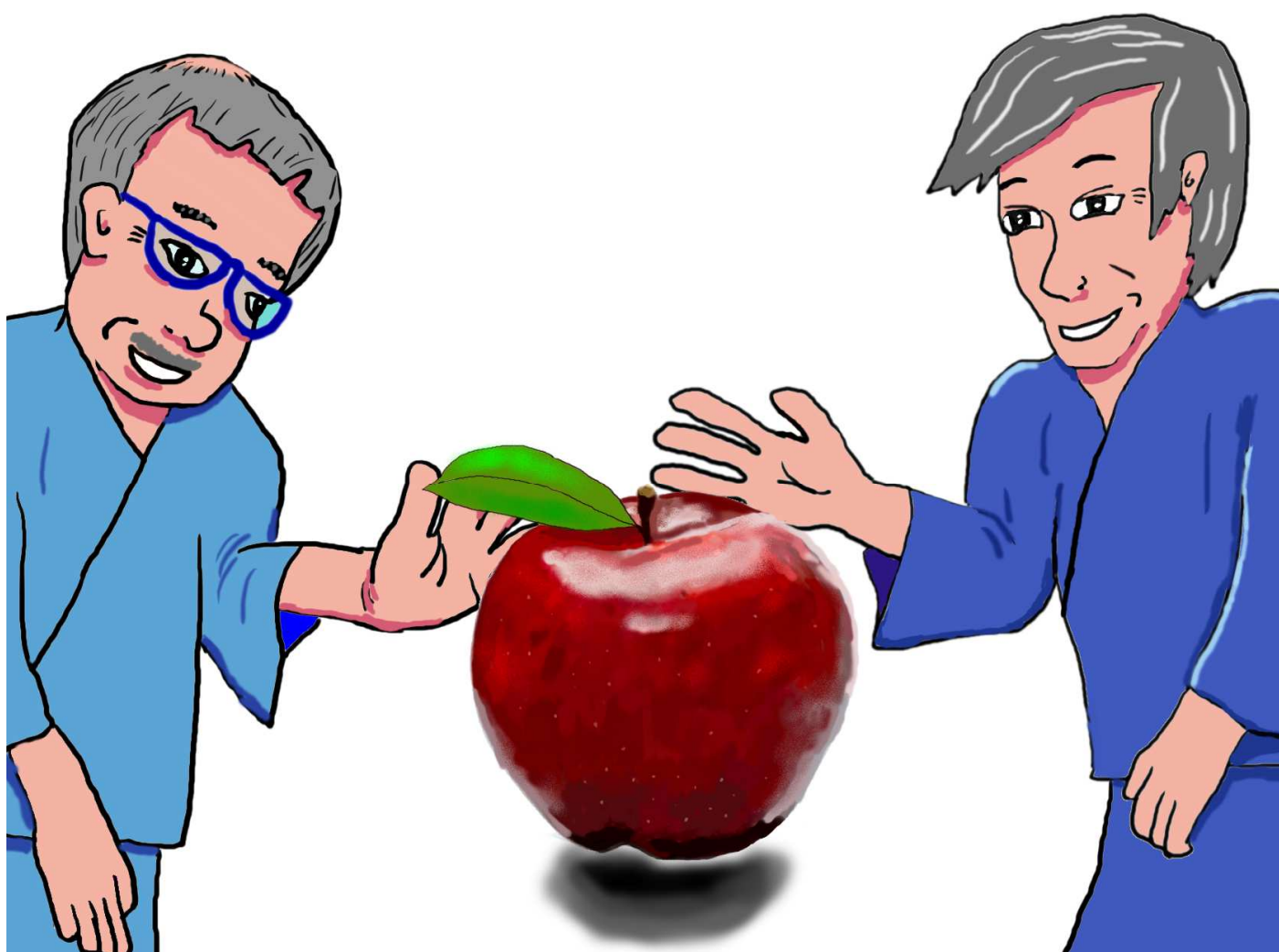
リンゴ異文化 騒動記



東郷 潤

世界には様々な文化があります。文化が異なれば人の行動パターンも変わります。

たとえば「お腹が空いた人が二人。食べ物はリンゴ 1 つだけ」という状況を想像してみてください。

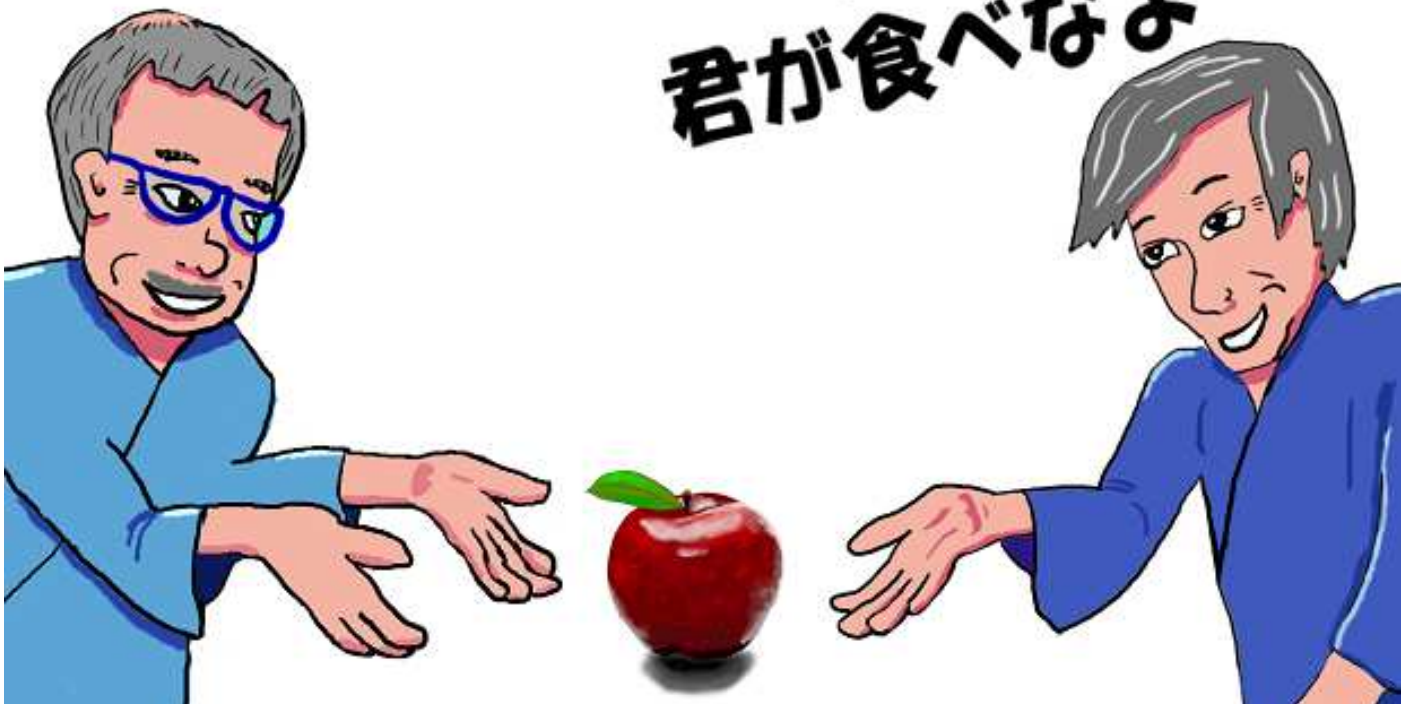


愛の文化

この二人は、愛の文化圏に属しています。そこでは愛と信頼の力を信じ、他人を思いやり、人と人との対立を可能な限り避けようとするのです。さあ、お腹を空かせた二人は、どんな行動を取るでしょう？

君が食べなよ

いやいや
君が食べなよ



だって君は今日、
いっぱい仕事を
したじゃないか

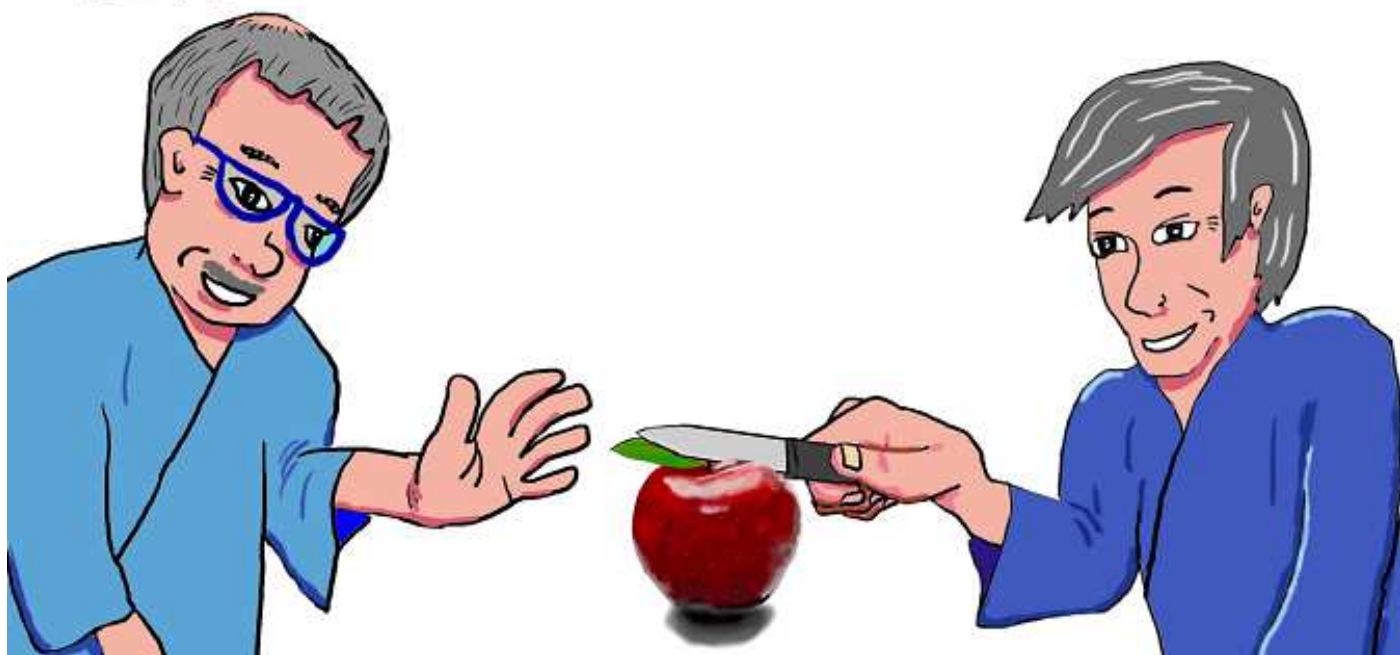
君こそ朝飯を
少ししか食べて
ないじゃないか



二人は相手にリンゴを食べさせるために、議論をします。お腹が空いていないわけではありません。愛を信じて、自分の欲求よりも相手の欲求を優先させようとしているのです。・・・いくら話しても、結論がでません。

**仕方ない。半分ずつで分けよう。
リンゴが腐ってしまうから**

**分かったよ。
仕方がないね**



そして二人はリンゴを仲良く分け合いました。

二人で食べると、
美味しいね！

本当だね！



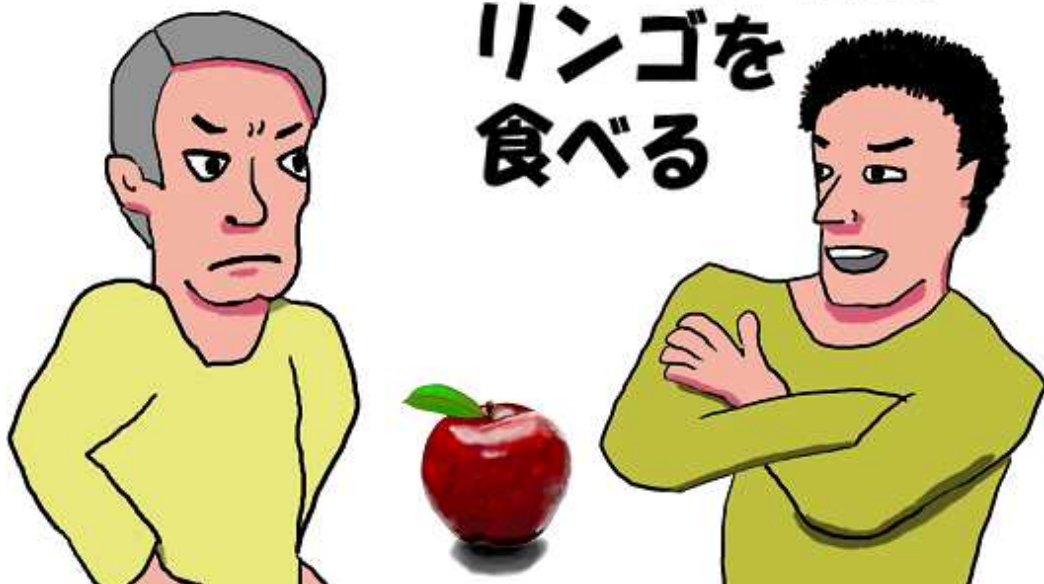
二人とも大満足です。

公正の文化

一方で世界には、人と人との対立を認めた上で、公正を善しとする文化もあります。そこでは率直で正直な自己主張が尊ばれます。対立を避けるのではなく、相手を騙さずフェアに競争するということです。さあ、そんな文化圏にいる二人は、どんな行動を取るでしょう？

俺がリンゴを食べる

いいや、俺が
リンゴを
食べる

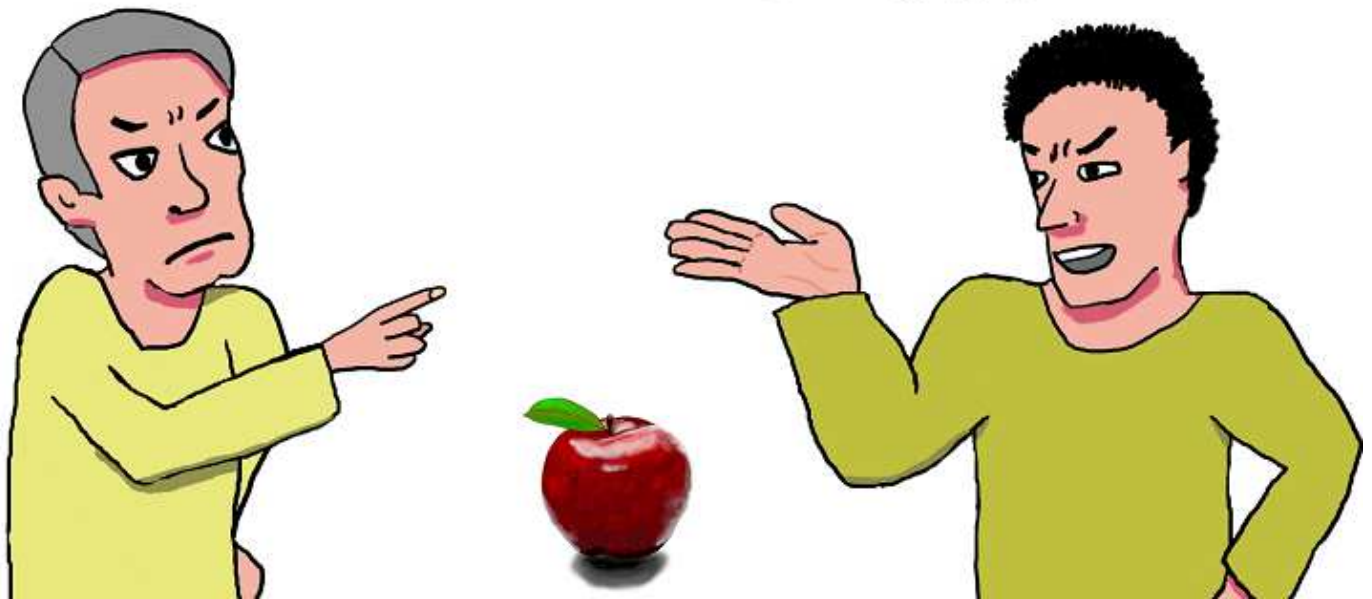


俺の方がお腹が空いている

俺の方がたくさん働いた

このリンゴは俺に
食べて欲しいと
思っている

このリンゴは
俺を好きに
違いない



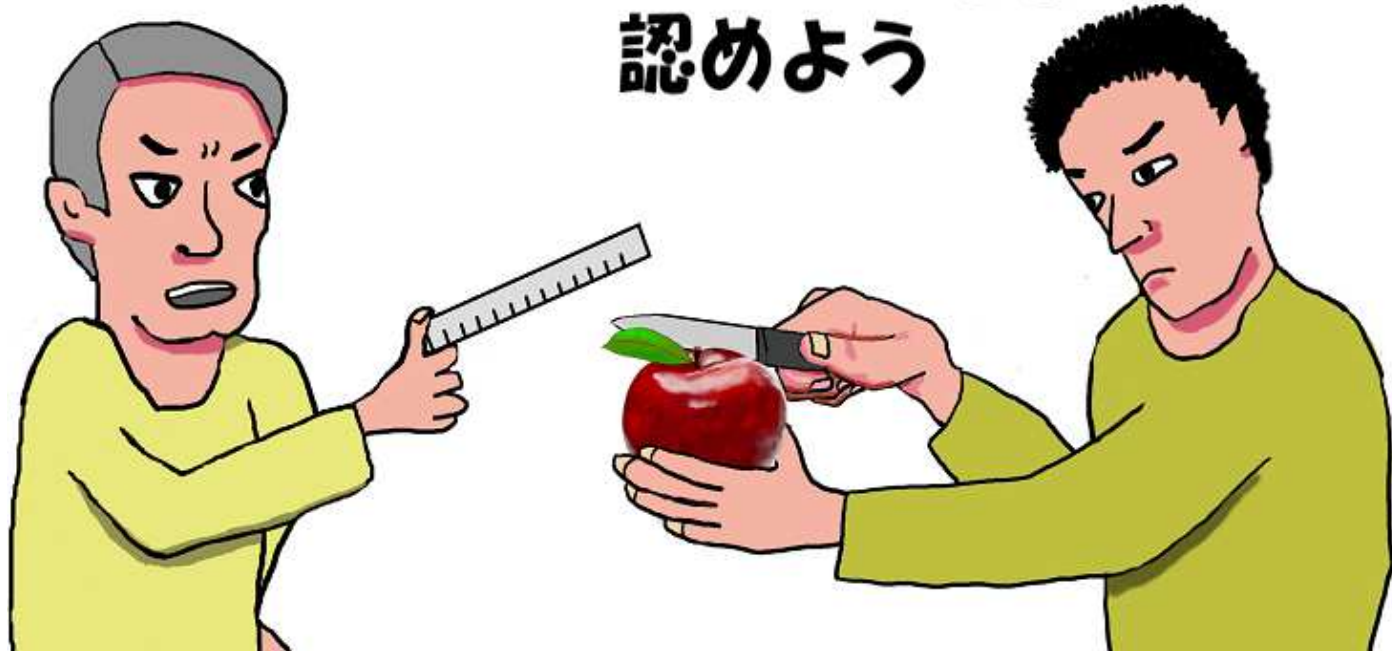
二人とも自分がリンゴを食べるために、
議論を尽くします。・・・結論がでま
せん。

仕方が無い。半分で分けよう。
このままじゃリンゴが腐る

よし、分かった。
じゃ、俺が切るからな

どちらの半分を
選ぶかは、俺が決めるぞ

フェアだと
認めよう



そして二人は取り決めに従って、リン
ゴを分け合いました。

**俺たちの競争は、なんて正直で
率直だったことだろう！**

**俺たちの戦いは、なんて
フェアだったことだろう！**



二人とも大満足です。

愛の文化と公正の文化

ではそれぞれが別の文化圏の人だったら、どうでしょう？ 二人とも空腹で、相手が空腹なことも知っているとしめます。

**これは俺が
食べるべきだ**

君が食べなよ



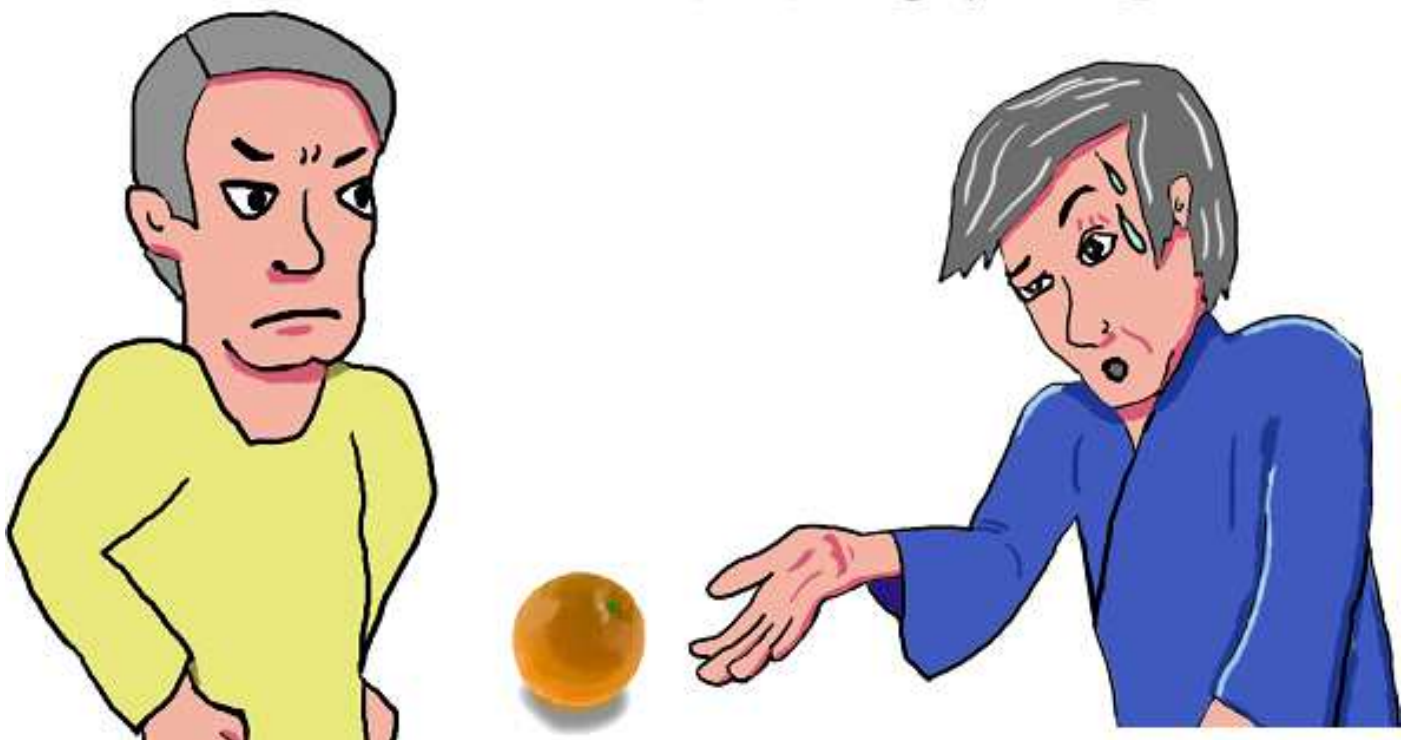
公正の文化の人が食べました。



オレンジが1つあります。

これは俺が
食べるべきだ

君、食べる？



公正の文化の人が食べました。



バナナが1本あります。

俺が食べる。
まだお腹が空いているからね



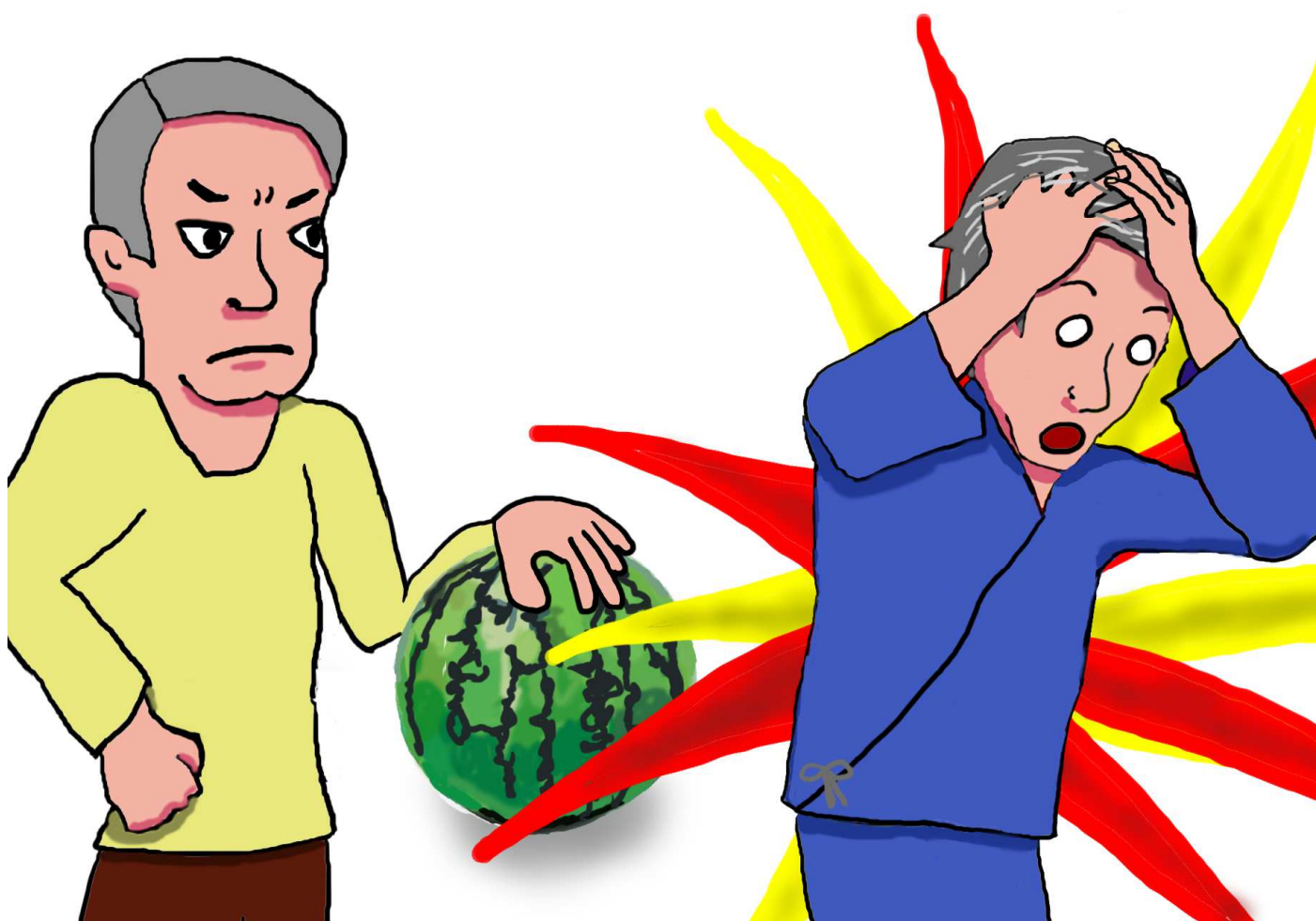
公正の文化の人が食べました。

ああ、腹いっぱいだ



スイカがあります。

これも貰うよ。
明日になれば、
お腹が空くから



**おまえはなんて、
我ままで利己的なんだ！**

**いいかげんにしろ！
このままじゃ俺は
飢え死にする！**



なんだと？
食べろといったのは
おまえじゃないか！

おまえには正直さも
率直さも無いのか？
この、嘘つきめ！



さあ、二人の間には、ひどい誤解が生まれてしまいました。ではその後、どうなるのでしょうか？

- もし彼らが誤解の原因を追究し、互いの文化を理解すれば、全ては笑い話となるでしょう。彼らの視野は大いに広がり、争いが深刻化することはありません。

人と人との対立は当たり前だと思
っていたけれど、そうじゃない
んだね。びっくりしたよ。愛の可
能性について、君の文化をもっと
学んでみたくなったよ

対立を前提とする文化が
存在するなんて、夢にも
思わなかったよ。僕は訳
が分からず怒りをためて
しまった。違う視点を
学ばせてもらったよ。
ありがとう



- ではもし彼らが誤解の原因を追究せず、代わりに互いを善悪で裁き、悪と戦うことを選択したら？



あとがき；絵本「リンゴ異文化騒動記」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2011